

どのタイヤをどこに付けたらいいのかな？

稲敷市立ゆたか幼稚園（茨城県稲敷市）

[5 歳児]

[きっかけ]

硬いボール紙を扱いやすい大きさに切って用意しておいたところ、レーシングカー作りが始まり、「すごい！レーシングカーだ」「どんな風に作るの？教えて」「一緒に作ろうか」と遊びが広がっていった。

ボール紙・ひご・プラスチックタイヤなどを組み合わせて作る

どんな風に組み合わせて作ろうか考える

「A君の車、ビニールテープを使ってきれいだね」「飛行機のように速く走るように、羽を付けてみたよ。羽を立たせるのって、難しかったよ」「羽を付けると本当に速く走るの？」「タイヤはどの辺に付けるとよく走るんだろう？」「この辺でいいと思うんだけど・・・」「タイヤを付け替えたから速く走るよ」



フックワゴンと段ボールで道路を作って遊ぶ

高さや速さの関係に気付く

「床より坂道の方がスピード出そうだ」「坂が高いとスピードが出るよ」「まっすぐのコースと曲がるコースを作ろう」「よく繋がないと、車が壊れちゃうよ」「キューンと曲がるように、片方を少し高くしてみればいいのかも」「あっ、速いねえ」「すぐに着いちゃって、つまないね」



高速道路を作る<高い急な坂、ながーい道路>

スピードが出るには？長い距離を走らせるには？

「このくらいの高さでいいの？」「すごいぞ！まっすぐ走って来た」「もっと高くしようか。スピード出ると思うよ」「ここでジャンプして車は吹っ飛んで行くんじゃないの？」「大丈夫だよ。ここはジャンプする所だから」



人間が乗れる車を作る<デコトラ（デコレーショントラック）に決定>

ノコギリ、カナヅチの使い方を考える

「すごく大きな板だよ。みんなで運ぼう」「この木材、長いから切らなくちゃ」「ノコギリ使うの初めてだけど、やってみるか」「あっ、曲がっちゃったよ。どうしよう」「どれどれ、僕に任せて。直してやるよ」「押さえてあげようか？」



どのタイヤをどこに付けたらいいのかな？<外を走る車や、家の車を見よう・・・カメラを持って取材>

クルクル回るタイヤと回らないタイヤの使い方に気付く

「職員室の椅子や、給食室のテーブルに付いてたよ」「発見！ここにあった」「ちょっと押すだけで簡単に動かせるな」「どこにどのタイヤを付ければいいんだろう？」「・・・」「わかったあ！やっぱり前のタイヤが動いていたよ」「後ろは回らないタイヤだよ」「ストッパーの付いてるのはどこでもいいか？」

「出来たらちょっと走らせてみようよ」「まっすぐ走ったぞ。やったー！」「すごい。まっすぐ走ったよ」「やっぱり動くタイヤは前だよ」

板にドライバーでタイヤを取り付けデコレーショントラックの台座を作る。



[考察]

発見や気付きを繰り返しながら、目的に向かって協力する姿に仲間関係の育ちをみる事ができた。

みどころ

個々に始めた車作りが、「自分たちが乗れる大きな車を作ろう」という共通の目的になっていきました。車の動きの違いに気付いて誰かが思案すると、それに反応して互いの様子を見たり、意見を求めたり、確認したりしながら、その時々直に課題を一緒に考え乗り越えています。子どもの言葉を追うことで、自分たちでやりとりしながら問題解決をしようとする体験の深まりや、体験を通して言葉を体得していく様子が把握できます。